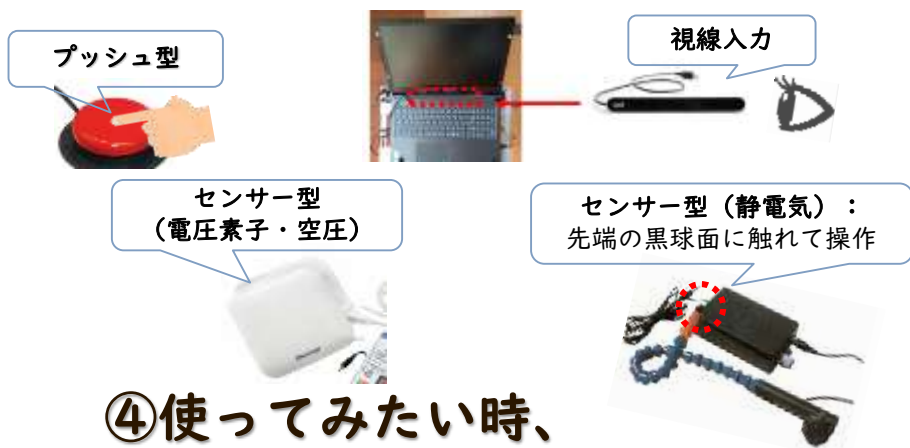


### ③ どうやって操作するの？

意思伝達装置を使うためには、動く身体の部分を利用して、“スイッチ”を使って操作を行います。スイッチには、

- ①手や足などで押して操作する“プッシュ型”
- ②触れるだけ、近づけるだけで操作ができる“センサー型”があり、スイッチの選択では、ご自身で on/offの操作ができるものを選びます。

↓ 一部ご紹介！（他にも機能や種類は様々） ↓



## 意思伝達装置を使った コミュニケーション方法 ご存じですか？

～筋萎縮性側索硬化症と診断された方へ～

### ④使ってみいたい時、 どこに相談すれば良いの？

まずは担当医師や担当のリハビリの先生に相談しましょう。  
障害の程度によりますが、意思伝達装置の購入の際、補装具費（重度障害者用意思伝達装）の支給対象となることがあります。  
給付申請前には、デモ機で操作練習を行います。その後、お住いの市町へ長崎県子ども・女性・障害者支援センターの要否判定の申し入れを行い、必要書類の提出、判定を受け、補装具費（重度障害者用意思伝達装）支給の可否が決定します。  
操作練習は、リハビリの先生と練習を重ねることが一般的です。  
支給申請の際には、医師の意見書などが必要となります。

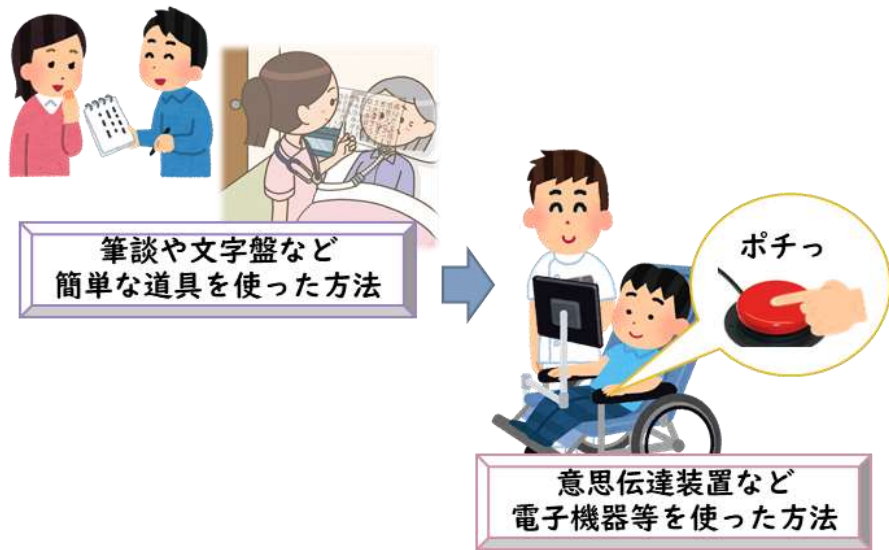
作成 長崎大学病院 難病対策センター

# ①筋萎縮性側索硬化症と

## コミュニケーション障害

筋萎縮性側索硬化症（ALS）は、手足・のど・舌の筋肉や呼吸に必要な筋肉がだんだんやせて力がなくなっていく病気です。個人差はありますが、全身の筋肉が痩せて力が入らなくなると、発声や筆談、ジェスチャー等によるコミュニケーションがとりにくくなります。

筆談やジェスチャー以外の方法として、“意思伝達装置”など、機器を使ったコミュニケーション方法があります。



### いつ頃から始めると良いの？

“腕や足、体幹、舌、顔面、口蓋、のど”

のいずれか1~2か所に明らかな運動障害があり、日常生活上、不自由がある場合に、“意思伝達装置”などの機器を使ったコミュニケーション方法を検討、または導入を始めると良いといわれています。

# ②意思伝達装置には、

## どのようなものがあるの？

“意思伝達装置”は、“スイッチ”（入力装置）を使って、コミュニケーションに必要なパソコン等への入力操作を行うための機器になります。

機器には、伝の心、TCスキャン、オリヒメアイなどの、様々な機種があり、これらの機器を使って、主に下の図のような作業を可能にします。

機種によって使える機能が異なりますので、その方のニーズによって機種を選択すると良いでしょう。

### 主な機能



ニーズに合わせて重度障害者用意思伝達装置を選択  
(例：伝の心、TCスキャン、オリヒメアイなど)